

政策	明日につながる産業の振興	施策	都市型農業の推進	基本事業	地産地消と消費者との交流
----	--------------	----	----------	------	--------------

部名	経済部	事業開始年度	平成18年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	農業振興課	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内農業者及び市民
意図	<p>・農業を介しての都市と農村の人的交流を盛んにする。                  ・農村の自然や文化に触れあうことで心身のやすらぎの場を提供する。                  ・江別産の農畜産物の消費が拡大され、生産者の所得増につなげる。</p>
手段	<p>都市と農村の交流を推進するため、グリーンツーリズム関連事業者（農産物直売所・貸し農園・加工各部会）との連携を図るとともに、農村景観、農業まつり等各種イベントを開催する。                  【25年度からの手段 都市と農村の交流を推進するため、グリーンツーリズム関連事業者（農産物直売所・貸し農園・加工各部会）との連携を図るとともに、各種イベントの開催を支援する。】</p>

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	市内農業者	人	1,320	1,266	1,290	1,245	
対象指標2	市民	人	122,138	121,705	121,705	121,385	
活動指標1	イベント開催回数	回	18	23	20	20	
活動指標2	各部会等開催回数	回	8	8	10	10	
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	196,925	208,855	210,000	220,000	
成果指標2	イベント参加者の関心度	%	73	94	80	80	
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	735	874	894	970	0
正職員人件費(B)		千円	4,030	4,816	6,474	5,236	0
<b>総事業費(A)+ (B)</b>		千円	4,765	5,690	7,368	6,206	0

**事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)**  
 協議会実施の事業へ補助する形とし、継続的な取組みについて取捨選択しながら、更なる経済効果を生み出すことを目標に、新しい取組みも企画する。

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

維持：現状の目的や方法に変更がな<sup>く</sup>25年度実施する事業  
 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業  
 休廃止：23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業  
 新規：25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			